

「道路施設の老朽化対策」パネル展の開催 ～ 計画的かつ効率的な道路管理の実現に向けて ～

高度経済成長期に集中的に整備された多くの橋梁やトンネルなど、今後、道路施設の高齢化が進行し、これらの修繕や更新を行う必要性が高まっています。

このため、道路施設の修繕や更新を計画的かつ効率的に対応していくことが重要な課題となっております。平成26年5月28日に、国、県、市町村、高速道路会社からなる「福島県道路メンテナンス会議」（会長：福島河川国道事務所長）を発足し、道路施設の老朽化対策に取り組んでいます。

今回、その一環として、**道路施設の現状や課題などを広く皆様に知っていただくことを目的に、道の駅などでパネル展を開催します。**

去る4月14日、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会は、『最後の警告』として、一刻も早い本格的なメンテナンス体制の構築を求める提言を、国土交通大臣へ手交しました。

わが国の道路施設の多くは、戦後本格的な整備が始まり、高度経済成長期に多くの橋やトンネルなどが建設されてきました。

今後、これらの施設は、急速に高齢化が進行し、計画的に修繕を行わなければ、将来大きな負担が生じることとなります。

このため、必要なインフラ機能を維持・向上させ、国民生活への影響を最小化するには、計画的かつ効率的な道路管理を実施する必要があります。

◆開催場所及び開催期間

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ①道の駅「安達(上・下)」 | 平成26年6月20日(金) ～ 6月29日(日) |
| ②道の駅「ひらた」 | 平成26年7月 1日(火) ～ 7月13日(日) |
| ③道の駅「南相馬」 | 平成26年7月 8日(火) ～ 7月17日(木) |
| ④道の駅「にしあいづ」 | 平成26年7月15日(火) ～ 7月24日(木) |
| ⑤福島県庁「県民ホール」 | 平成26年8月11日(月) ～ 8月22日(金) |

◆展示パネルの主な内容

- ・道路施設の老朽化の現状（東北管内の事例）
- ・橋の重大損傷事例（東北管内の事例）
- ・長寿命化計画
- ・新技術の活用
- ・地方公共団体への支援

A 1 パネル 2 2 枚

◆主催：福島県道路メンテナンス会議

構成機関：国土交通省 福島河川国道事務所・郡山国道事務所・磐城国道事務所
福島県、福島県59市町村
福島県道路公社、東日本高速道路(株)東北支社

発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
副所長(道路) 赤坂 浩 TEL 024-546-4331(代表)(内線 205)
福島県土木部 道路管理課
主幹 青山 徹 TEL 024-521-7468(直通)(内線 3564)

